

## キャスト降板について

### 【概要】

キャストの一名が二度の規約違反を犯し、また、その後の態度に不信感を覚えたため降板措置に至りました。

そのため主人公の声を無音に差し替えております。

こちらはバグではないのでご了承ください。

### 【二度の規約違反について】

一度目は出演記念に無償で贈呈した完成記念品のうち、ネタバレ防止のために SNS 投稿を制限していたイラストの SNS 投稿。

二度目は無断転載禁止のキービジュアルイラストを、自身の実況の宣伝のために無断利用。これらの禁止事項は、記念品に同封の添付文書、および、実況をされる方ならば必ず読まれる「はじめにお読みください」の注意事項にはっきりと記載しておりましたが、二度とも「忘れていた」という理由で規約違反をされました。

### 【不信感を覚えた経緯】

二度目に規約違反を注意した際、相手の態度に疑念を持ったため今回の措置に至りました。というもまず、こちらが怒気を押さえている間は謝罪もなく軽い受け答えで流され、申し訳ないという気持ちが感じられませんでした。

それに憤りを覚えて怒気を表すと、今度は「なんか怒ってるから適当に謝って早く話を終わらせよう」という態度が見え、謝罪の言葉に似つかわしくない顔文字を付けるなど、真剣みのない言動が見られました。

このような態度からは規約を軽視し、規約違反も「忘れていた」わけではなく出演者だから咎められないと踏んであえてやったのではないかという疑念を抱かざるを得ませんでした。もし、二度とも本当に忘れていたとしても先述の通りその後の受け答えからは申し訳ないという気持ちが見受けられず、ほとぼりが覚めればまた同じようなことを繰り返すことが容易に想像できました。

続編も視野にいれている以上、当方としてはそのような方に大切な物語の一端を担っていただきたくない判断し、キャスト降板の措置に至りました。

### 【作者の思いについて】

今回の措置に賛否はあるかと思えます。

こちらの注意の仕方にも問題があったかもしれません。

ただのうっかりならばと、はじめは怒気を押さえて注意したために、規約を無視しても怒られないと勘違いさせてしまったのかもしれない。

相手の態度が軽かったのも、こちらがはじめからはっきりと怒らなかったせいかもしれません。

それゆえ反省の様子がない相手の態度に怒気を表した時、「急に怒り出してやばいやつだから相手にしないでおこう」と適当な謝罪で済ませようとしたのかもしれない。

私も相手の態度を見ていると、この程度のことで怒るほうがおかしいのだろうかや疑問に思ってしまうことがあったため、今回の措置に否定的なご意見をいただいても致し方ないことかと思えます。

しかしながら、この物語には、対価として金銭を得ていない代わりに、心をこめています。

この度のことはその心を軽率に踏みつけ、否定されたようでした。

出演者からもこんなに簡単に踏みつけられるような作品を世に出した自分が悪く、相手は私の作品の悪影響のせいでそんな行動を起こしてしまったのだろうかやすら感じ、私や私の作品のせいで相手を悪者にしないためには私ごと作品を抹消するべきなのではという暗い思いがよぎり、非常に辛い思いをしました。

しかし今回のことを心配して声をかけてくださった方から、あたたかい言葉をいただき心と作品を肯定されました。

そのため作品を抹消するのではなく、規約違反者の降板という措置を決意しました。

完成した作品から要素を欠かすことは誠に遺憾ですが、作品と私の心を守るためには必要な措置だと考えております。

大変恐縮ではありますが、ご理解のほどをよろしく願いいたします。

またこの件とは無関係な出演者ならびに関係者の方には、大変ご迷惑をお掛けいたしますことをお詫び申し上げます。